

# 第18回筒井区民運動会

筒井 横山麻由美

5月26日(日)、五月晴れの絶好の運動会びよりの中、松前小学校グラウンドで筒井住民約180名が参加し、第18回筒井区民運動会が行われました。

学校では週五日制が導入されましたが、家庭や地域での人間関係の希薄さが言われる今日、三世代が交流する場として、地域の運動会は貴重な機会と思いいました。筒井地区は45の組に分かれ



ているので、筒井地区を5つの組に分け、組対抗で競技を行いました。「スピード違反」「親子でダッシュ」など大人も子どもも楽しめる競技や「〇×クイズ」「巡り会いお尻あい」などの個人競技もあり、十数種類の競技をみんな、わきあいあいと和やかに行いました。

結果、優勝は一組、準優勝は二組でした。各組の得点は次のとおりです。

- 一組 27点
- 二組 24点
- 三組 15点
- 四組 18点
- 五組 21点

最後に全員で松前音頭を踊って、白熱した一日を締めくくりました。

勝ち負けもさることながら爽やかな汗をかいて、日ごろの運動不足を解消すると共に、筒井地区の大人と子どもとの交流を通し、親睦を深めることができた一日でした。

また、ぜひ参加したいと思えます。役員の方々、お疲れ様でした。



## ぼくの宝物

松前幼稚園教諭

吉岡友美

「先生、これ見てぼくの宝物。」笑顔と一緒に見せてくれたのは、牛乳パックにトイレットペーパーの芯をつけた鉄砲でした。必死になって作った鉄砲のようで、丸い芯と四角の牛乳パックをつなぐセロハンテープは何重にもなっていました。この4歳児のA君には、大人にとって「ゴミ？」と思える、トイレットペーパーやラップの芯、お肉のトレイ、ビンのキャップ、プリンカップなどの廃材は、みんな「ぼくの宝物」に変身する大切な部品なのです。

松前幼稚園には、廃材コーナーがあり、廃材を種類別に整理して置いてあります。幼児がいつでも自分の使いたい廃材を持っていきます。ある朝、保護者の方が廃材コーナーの所でゴソゴソしているのを見てみると、袋から牛乳パックやトレイなどを分けていれてくれていました。声をかけると、「たまったけんもってきたんよ、分けとくね。」

と言われました。このさりげない行為にとてもうれしくなりました。自分の子どもが使いためにだけに廃材を持たせるのではなく、みんなが使ったほしいの思いで置いてくれることに感謝しました。このちょっとした心遣いが、A君の宝物を生み、幼児の生活を豊かにします。人と人が集う幼稚園で、直接的に人とかかわるだけでなく「もしかしたら」私がことうすることで誰かが助かる、誰かの心や生活が豊かになる、そんな心遣いを大切にしていきたいと思います。誰もが我が子のように接してくれる中で、幼児が生き生きと自分の宝物を見つけ、夢をいっぱい広げる、人のあたたかさを実感できる生活づくりをしていきたいです。そのことが、相手を大切に思い、物を大事にし、人とかかわることが大好きという人権の芽生えを培っていくのではないのでしょうか。